



柴橋正直市長に目録を手渡した田代正美会長  
兼CEO(右)＝岐阜市役所

## 岐阜薬科大新キャンパス整備

# バローグループ1億円寄付

岐阜市へ「学術拠点願う」  
ふるさと納税

バローグループは、岐阜薬科大の新キャンパス整備支援として、大学を運営する岐阜市に計1億円を寄付した。贈呈式が29日、市役所であり、バローホールディングス(HD)の田代正美会長兼CEOは「(大学を整備する)黒野地区が学問、学術の拠点になればと思う」と語り、柴橋正直市長に目録を手渡した。(松浦健司)

市は、老朽化した三田洞キャンパス(同市三田洞東)を2028年度に本部キャンパス(同市大学西)に統合した上で、西側に新キャンパスを整備して研究の充実を図る。計画に賛同し、バローHDが2千万円、ドラッグストア「Vドラッグ」を展開する中部薬品(多治見市)が8千万円を、企業版ふるさと納税制度を活用して寄付した。

贈呈式で柴橋市長は「大きな支援をいただき、勇気100倍」と感謝した。

市は本部キャンパスの隣の岐阜大と連携して、大学周辺に研究機関や関連企業を誘致し、ライフサイエンス拠点とする構想を持つ。

新キャンパス整備事業の本年度の事業費は約2億2千万円で、市は企業版ふるさと

と納税で企業に寄付を呼びかけている。本年度の企業からの寄付は、スギ薬局(愛知県大府市)と非公表の企業に続き3例目となり、金額はバローグループが最大となる。